

栄光の ペルシア展

2010.8.27 FRI — 2011.2.27 SUN

午前10時～午後5時

休館日／火曜日（祝日の場合は開館）

年末年始／12月24日～31日休館、正月元日より開館

入館料／一般1,200円／高・大学生800円／

小・中学生無料

70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引

障害者手帳をお持ちの方は無料、介護の方1名まで600円

被爆者手帳をお持ちの方は無料

主催 公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館

山梨日日新聞社・山梨放送 信濃毎日新聞社 絲綢社

後援 イラン・イスラム共和国大使館 山梨県 山梨県教育委員会 北杜市

北杜市教育委員会 山梨日日新聞社・山梨放送 信濃毎日新聞社

ハケ岳ジャーナル NHK甲府放送局 テレビ山梨 エフエム富士 エフエムハケ岳

協力 古代オリエンタル博物館

協賛 キリンビール

いまからおよそ7000年前、イランの地に興った先史文明から、大帝国を築いたアケメネス朝、シルクロードを通じて日本にも大きな影響を与えたパルティアやササン朝、やがて、豪華な宮廷文化が開花したイスラム王朝時代。多様なペルシア文明のひろがりをさまざまな美術・工芸品（貴金属、陶器、コイン、細密画、ガラスなど約200点）を通じて紹介しています。



カシミールショール展

当館のシルクロードコレクションの中でも質・量ともに誇るカシミールショールの展覧会が終了しました。2ヶ月半の会期中、16,350人の来館者にお越しいただきました。なお本展に出展したカシミールショールをすべて掲載した本を出版しました。この機会にご覧下さい。

山川出版社

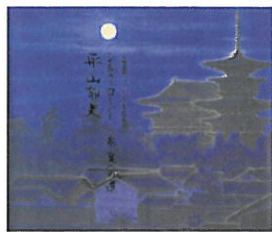
「カシミールショール 変化するペイズリー文様」▶

2010年3月発売



平城遷都1300年記念特別展

シルクロード—奈良への道 平山郁夫展



図録「シルクロード—奈良への道 平山郁夫」
（ミュージアムショップで販売しています）

平城遷都1300年に合わせて生前平山郁夫が構想し、最期まで尽力した展覧会が無事閉幕しました。今回の展覧会では平山郁夫生涯のテーマとなった仏教伝来を中心に、シルクロードの終着点としての大和路を描いた作品群を一堂に集め、平山郁夫の真髄を紹介しました。約1ヶ月に13,400人にご来館いただきました。



展覧会予告

神々のインドネシア展

海のシルクロードの要衝に浮かぶ島々の国インドネシアは、インド文化、西洋の文化、極東の文化を受容し多様な表情をみせます。なかでも木綿の更紗は素朴な味わいのなかにも伝統と東西文化の影響、技術の確かさを映し出しています。今回は更紗を中心に、豊かな信仰心から生まれた彩色豊かな土俗の仮面や人形などを展示します。

同時開催

展示室5 平山郁夫 玄奘との出会い

シルクロードに足を踏み入れるきっかけとなった作品「仏教伝来」や「大唐西域壁画」の下図など平山郁夫の制作風景を偲ばせる展示を行います。

平山郁夫展示室 日本の風景

個人蔵「吉野桜」や奥入瀬を描いた「流水無間断」など季節感あふれる作品を展示します。

平山郁夫シルクロード美術館 ニュース

No.

11

平成22年
12月15日発行



薄茶綾地花樹貴人文錦 絹
イラン サファヴィー期 17世紀

このたび平山郁夫シルクロード美術館の『栄光のペルシア展』で道明三保子先生（文化女子大学名誉教授）からこの布についてのご説明をお聞きし、真ん中の白い樹

もう四十年位前のことです。その時は、この人物紋錦がイランのサファヴィー朝の絹だということくらいしか分かりませんでした。絵のよ

木は花咲く牡丹で、それに手を伸ばすのは円熟したサファヴィー朝の美男の貴公子であること、そして右上に華やかな羽を拡げるとんぼ



ペルセポリスを背景にした夫妻

サファヴィー朝の貴公子文錦に思う事

平山美知子

うなこの絵錦が大変気に入りました。我が家ではまだシルクロードコレクションとしては布（絹）の収集をしていない時期だったので、布というより絵の感覚でいつも床の間に飾っていました。ですからこの人物も貴公子というより女性が上を飛んでいるとんぼを見上げている図柄だと思っていましたし、真ん中の白い植物が何かも分かりませんでした。

はある微妙な関係を示している、などという私には考え及ばなかった解釈があることを教えていただきました。一つの図柄から多くのことを読みとる目を養わなければならぬのだということを知りました。それにしても筆で描く線の美しさと違って、機（はた）が織り出す線の微妙さに私はかえって親しみが湧くのです。



平山美知子によるイランの旅日記

コレクション紹介 Collection — 帝王狩獵文銀皿 —



アフガニスタン クシャーン・ササン朝
3-4世紀 銀・鍍金 径28.6cm

ササン朝の銀器は古代西アジア金属工芸の到達点であり、工芸史上の傑作といえます。本作は当時の国王の虎狩りシーンが克明に表されています。国王の丁寧に編まれた頭髪や刻線で縦縞模様が表されたカスピ虎などからクシャーン・ササン朝時代の作だと考えられます。現存する帝王狩獵図などが表された容器はササン朝の中央工房ばかりでなく、地方に派遣された王族やアフガニスタン北部のクシャーン・ササン朝の工房でも多く作られました。

（栄光のペルシア展にて公開中）

講演会

第1回「カシ米尔シヨールの世界」

講師／道明三保子(文化女子大学名誉教授)

4月17日(土)午後2時～3時30分

第2回「カシ米尔シヨールとの出会い」

講師／平山美知子(平山郁夫シルクロード美術館館長)

小川 貞夫(小川美術館館長)「対談」

5月15日(土)午後2時～3時30分

特別展「カシ米尔シヨール 変化するペイズリー文様」展の関連事業の一環として、講演会を開催しました。

第1回は今回展示されたシヨールの文様や織りや刺繍の技法、またヨーロッパのファッションの移り変わりとともにカシ米尔シヨールがどのような変遷を遂げていったかについて、お話しくださいました。

第2回は世界でも有数のカシ米尔シヨールをコレクションするに至った経緯や想像を超えた過酷なカシ米尔の旅のエピソードについて当時を思い出しながら対談していただきました。



体験教室

染色体験

「藍の生葉、藍畑から摘んで」「秋の色に染めようくるみやどんぐり、コチニールを使って」

講師／中村まり子(染色家)

第1回 8月22日(日)

第2回 10月23日(土)

各午前10時～午後3時

第1回染色教室では美術館の畑で育てた蓼藍を参加者自ら摘んで絞り染めをする藍の生葉染めを、第2回には周辺の森から採取した木の実を煮出した秋色の天然染色を体験してもらいました。



日本画体験「岩絵具に挑戦!」

講師／鳥山 玲(日本画家)

小田原千佳子(日本画家)

9月26日(日)午後1時～4時

岩絵具や膠など、本格的に日本画の画材を使用して制作した。第2線で活躍する日本画家に直接指導を受けながら楽しく本格的な日本画を体験することができました。



子どものための ワークショップ

「うちわに絵を描こう!」

8月22日(日) [参加者8名]

「粘土で動物を作ろう!」

10月17日(日) [参加者2名]

青少年ボランティアの協力を得て子どもを対象としたイベントを開催しました。美術館でいろいろ描いたり作ったり、小さなアーティストたちは自由な発想で制作を楽しみました。



『出前講座』絵手紙コンクール

「夏休み研究自由研究プロジェクト」

日時／7月19日(祝・海の日)

午後1時30分～4時30分

場所／山梨県地場産業センター
かいてらす

ふるさと祭り

日時／8月1日(日)

午前10時～午後4時

場所／高根中学校グラウンド



第2回 平山郁夫絵画教室を開催

日時／5月26日(水)

場所／キープ協会(北杜市高根町清里)

平山郁夫画伯の「子どもたちに絵を描く楽しさを伝えたい」という強い意思から始まった絵画教室。画伯の想いを引き継ぐべく、昨年に続き今年も地元の小学生を対象に絵画教室を開催しました。宮廻正明氏(東京芸術大学教授)の話と指導のもと、児童たちは夢中で制作に取り組んでいました。



平成22年度
賛助会交歓会

日本のまほろば 奈良にて開催

賛助会会員による交歓会が4月24日に開催されました。平山美知子館長を囲み、総勢44名が平城遷都千三百年の奈良の都を堪能した一日でした。薬師寺では『大唐西域壁画』を前に、山田管主の読経にあわせ一同唱和いたし、平山郁夫先生がそこにいてくださるような感動を共有いたしました。その後、橘寺で精進料理を味わい、石舞台古墳を経て、飛鳥寺を拝観したのち、今回のもう一つの目玉である奈良県立万葉文化館で開催中の「シルクロード奈良への道・平山郁夫展」を鑑賞いたしました。バスの中では会員同士がそれぞれの思いを語り合い、和やかな親睦の場となりました。お天気にも恵まれ、会員の皆様の厚い御支援の気持ちにも支えられて、充実した一日となりました。

(喜安香奈子 記)



公益財団法人 となりました

当館は平成20年12月1日の新公益法人制度の施行に基づき、平成22年6月29日に内閣府より公益財団法人の認定を受け、翌月1日より公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館として新たなスタートを切りました。

美術館を運営する法人としては、数少ない公益認定を頂くことができました。今後は、さらにシルクロードに関する文化・芸術を普及させるために、関係者一同身の引き締まる思いで事業に従事する所存です。

何卒、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

開館カレンダー2010~2011

10 OCTOBER							11 NOVEMBER							12 DECEMBER						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						2	1	2	3	4	5	6		5	6	7	8	9	10	11
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	12	13	14	15	16	17	18
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	19	20	21	22	23	24	25
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	26	27	28	29	30	31	
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30											
31																				
1 JANUARY							2 FEBRUARY							3 MARCH						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1		1	2	3	4	5			1	2	3	4	5	
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		
30	31																			

「栄光のベルシャ」展 講演会

「神々のインドネシア」展

※11月23日は祝日のため開館
※2/28日~3/2日は展示替えのため休館

■館外展覧会の報告

平城遷都1300年記念特別展

シルクロード奈良への道 平山郁夫展(巡回展)

4月17日(土)~5月30日(日)

奈良県立万葉文化館(奈良)

6月2日(水)~7月14日(水)

平山郁夫美術館(広島)



万葉文化館オープニングの様子

第16回秘蔵の名品アートコレクション展 平山郁夫 平和への祈り

8月4日(水)~29日(日)

ホテルオークラ東京(東京)

平山郁夫 シルクロード日本画展 -文明の十字路を行くトルコ-

8月6日(金)~10月3日(日)

ペラ美術館 (イスタンブール トルコ)



平山郁夫 シルクロードへの思い

7月17日(土)~9月5日(日)

小海町高原美術館(長野)

獅子舞—ユーラシアから伊那谷へ—

10月16日(土)~11月23日(火・祝)

飯田市美術博物館(長野)

平山郁夫追悼展示 小沢道治展—日本画家が結ぶ心—

11月20日(土)~12月23日(木・祝)

和歌山県立近代美術館(和歌山)

■お知らせ



来年早春に東京上野の東京国立博物館で平山郁夫の偉大な活動を顕彰し大規模な展覧会が開かれます。画伯が関心を寄せた仏教伝来の道に沿った仏像や壁画の数々とともに、薬師寺玄奘三蔵院に奉納された畢生の大作・大唐西域壁画を全点展示いたします。

日時 2011年1月18日(火)~3月6日(日)

場所 東京国立博物館 平成館

主催 東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社

特別協力 平山郁夫シルクロード美術館、法相宗大本山薬師寺

平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第11号 平成22年12月15日発行

発行 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225

URL <http://www.silkroad-museum.jp>



公益財団法人

平山郁夫シルクロード美術館